



山形大学基金

Yamagata University Fund

～山形での学びにご支援を～



未来を担う人材を地域社会と共に 次世代に伝える山形大学基金

山形大学基金は、2016年の創設以来、卒業生や在学生の保護者、企業など多くの皆さまからご寄付をいただき、経済的に困窮する学生や、国際交流、課外活動への支援を行ってまいりました。特に、2020年4月から2023年3月末までは延べ1465人の方からのご寄付により、新型コロナウイルスの影響で家計に大きな影響を受けた学生に対して、様々な経済的支援を実施することができました。ここにあらためて御礼を申し上げます。

山形大学は、多様な人々・組織との共育・共創・共生を通じて地域社会の発展に貢献することを目指しています。そのために、山形大学基金の新たな枠組みとして、事業目標と期間を設定した寄付プロジェクト「やまだい未来へつなぐプロジェクト」を設けました。このプロジェクトでは、様々なステークホルダーの皆様とのエンゲージメントを拡大して、本学の地域における公共財（コモンズ）としての機能を高めることを目的としております。進行中のプロジェクトをここで紹介していますので、ご覧ください。

コロナ禍で国の財政状況が一層厳しくなり、国立大学に対する運営費交付金の増加が期待できない状況において、山形大学の社会的使命を果たす上で、本基金は一段と重要性を増しております。学生も、コロナ禍をきっかけにして、本基金が社会の皆さまからの温かい励ましであることを実感し、一層、勉学に励んでおります。

ここに山形大学基金への寄付をお考えの皆さまに、その概要をご案内いたします。本学はこれからも「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」の3つの使命に邁進してまいりますので、皆さまのご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

国立大学法人山形大学

学長 玉手 英利



玉手英利

東北大学大学院理学研究科修士、山形大学理学部長、小白川キャンパス長などを経て、2020年4月より学長に就任。



経済的修学困難学生への支援

支援を受けた学生からの御礼メッセージ 2020年、2021年

自分は長子で妹と弟がいることもあり、妹や弟のことも考えなければいけない両親に、経済的に負担をかけているのが忍びなかったので、今回の支援金はとてもうれしいものになりました。ありがとうございます。

(人文社会科学部3年)

自分は決して裕福な家ではなく、奨学金も限度額を借り、バイトをしてなんとか普通の大学生らしい生活を送っております。今回の寄付金を大切に利用させて頂くとともに、より一層学業に励みます。この度は、本当にありがとうございました。

(地域教育文化学部2年)

父が定年退職し、収入が大きく減りました。母はパートで働いています。私と妹がともに大学生であり、学費負担が大きくなっています。あと半年の学生生活をお金の心配をせずに過ごすことができると考えています。よろしく願います。

(農学部4年)

私は山形県出身ではありません。4年前の大学進学を機に、山形で学生生活を送ってきました。4年間の学部生時代を通して、将来山形県で心理専門職として働くことを考えています。今回の修学支援に感謝しつつ、社会に貢献できる専門家になるべく、勉学により一層励んでいきたいと考えています。

(大学院社会文化創造研究科1年)

この度は山形大学基金からの修学支援を行っていただきありがとうございます。コロナ感染症の拡大から、勉学、アルバイトでの不安が多いなか、このような支援は非常に助かります。私は生活費を自分で賄っている為、生活が非常に苦しく、授業料免除は不許可になってしまうため、大学院を辞めようか迷っていました。これを機に、卒業できるように頑張ろうとする気持ちになりました。本当にありがとうございます。

(大学院理工学研究科1年)

これからの生活が不安でしたが、金銭的のみならず、精神的にも安心しました。この支援を糧に、山大出身者として社会に貢献できる人間になれるように精進します。この度は誠にありがとうございました。

(大学院理工学研究科1年)

(物価高に対する経済対策支援) 2023年

一人暮らしで節約しているのでとても助かります。ありがとうございます。

(工学部3年)

案内をメールでいただいたので、忘れずに行くことができよかったです。ありがとうございました。

(医学部4年)

保存期間が長いものや消耗品など助かるものばかりでした!ありがとうございます。

(医学部3年)

このような素敵な企画を開催していただきありがとうございました!大変助かります!!
また開催していただけると嬉しいです!

(大学院理工学研究科2年)

山形大学基金への寄付のご案内

山形大学基金は、本学における学生支援及び教育研究支援等に資することを目的に創設いたしました。山形大学の更なる飛躍と発展のために、皆さまからの末永いご支援とご協力をお願いいたします。

経済的修学困難学生への支援

経済的な理由で修学に困難がある学生等に対して支援を行うことにより、意欲と能力のある学生が希望する教育を受けられるよう支援することを目的としています。

具体的には、次のように活用されます。

- 入学金、授業料及び寄宿料の全部又は一部免除
- 学資金の貸与又は給付
- 学生の海外への留学に係る費用負担
- ティーチング・アシスタント及びリサーチ・アシスタント業務に対する手当等負担

※経済的修学困難学生への支援に係る「税制上の優遇措置」について

平成28年度の税制改正により、国立大学法人等が実施する修学支援事業（経済的修学困難学生への支援に限る）に対する個人の方々からのご寄付については、これまでの「所得控除」に加え「税額控除」の適用対象となりました。

本学の「修学支援事業特定基金」へのご寄付は上記に該当いたしますので、確定申告の際に、ご寄付者において、所得控除又は税額控除、いずれか一方の制度を選択いただけます。

大学公認学生サークルへの支援

小白川、飯田、米沢、鶴岡の各キャンパスにある各「大学公認学生サークル」を個別に指定してご支援いただくことができます。（7頁参照）

- （例）飯田キャンパス：硬式テニス部
鶴岡キャンパス：吹奏楽団



山形大学基金 ご寄付への謝意について

山形大学基金のホームページにご芳名、学生からのご寄付者への御礼メッセージを掲載しています。
下記の QR コードまたは URL から是非ご覧ください。

https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/fund/about_fund/gratitude/



御礼メッセージ

大学公認学生サークルへの支援

「楽しい」を原動力に ～学生起点の地域活性化活動～

山形大学地域連携型サークル Team 道草
11 代目代表 丹駿介

この度は山形大学公認学生サークルへのご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

Team 道草は、2013 年に集中講義「フィールドラーニングー共生の森もがみ」をきっかけに設立し、最上地方を中心として、学生の“やってみたい!”と地域の“やってほしい!”を結び付けた地域活動を展開しています。

基金にいただいたご支援を生かし、6 月にオリジナルそばの販売、8、9

月にお化け屋敷の開催、11 月にみちくさ縁日の開催をすることができました。その他、学習支援や高齢者等への弁当配達、農業体験等も継続して定期的に行っています。

コロナ禍の影響で、地域への想いが実らない日々が続きましたが、こうして様々な事業を実現できたのは皆様からのご支援のおかげです。

今後も学生の斬新な発想力とエネルギーを生かし、大好きな最上地方を盛

り上げ、地域の方々と「楽しい」を連鎖させてまいりますので、ご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。



やまだい未来へつなぐプロジェクト

山形大学医学部創立 50 周年記念事業支援への感謝

山形大学医学部長 永瀬智

山形大学医学部創立 50 周年記念事業（山形大学医学部教育研究支援基金）への多大なるご支援をいただき、厚く御礼を申し上げます。

山形大学医学部は、1973 年（昭和 48 年）9 月に新設医学部の一期校として地域医療の中核を担うべく設立され、1993 年（平成 5 年）に開学した看護学科も設立 30 周年を迎えました。これまでに巣立った医学科学生は 4900 名、看護学科学生は 1800 名を超え、名実ともに、日本の地域医療を支える医学

系学部へと発展しております。

皆様のご支援のおかげで、本記念事業では、医学部入学式や講演会等で使用する「50 周年記念講堂の整備」及び学生自習スペースの機能を有し、客観的臨床能力試験（OSCE）等の公的試験に十分対応可能な「YU-MAI センターの整備」を進めることができました。誠にありがとうございました。

なお、本記念事業につきましては、学生の教育研究に資するため、引き続き令和 6 年度も実施いたします。

今後とも変わらぬご支援の程、よろしくお願いいたします。



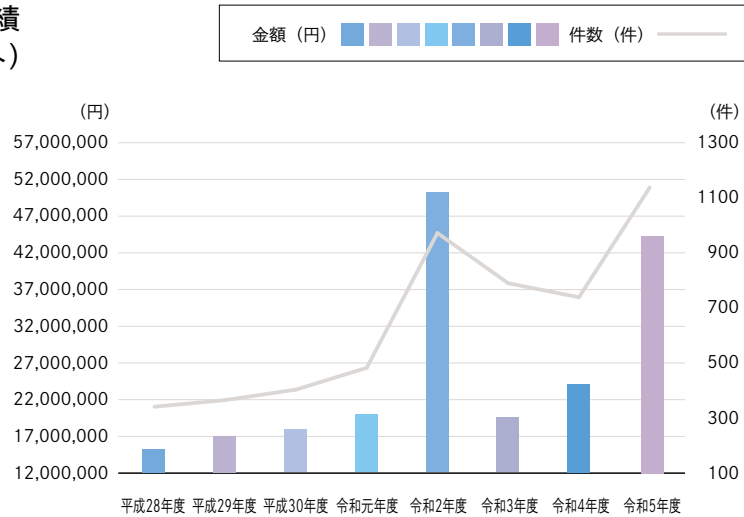
YU-MAI センター完成図

「山形大学基金」 状況報告

平成28年度から令和5年度の受入実績 (現物資産寄付以外)

	受入金額 (円)	受入件数
平成 28 年度	15,214,910	344
平成 29 年度	16,955,788	368
平成 30 年度	17,832,228	406
令和元年度	19,871,772	485
令和 2 年度	50,127,884	974
令和 3 年度	19,457,916	792
令和 4 年度	24,077,030	741
令和 5 年度	44,267,078	1,139

※令和 5 年度は 2 月末までの実績



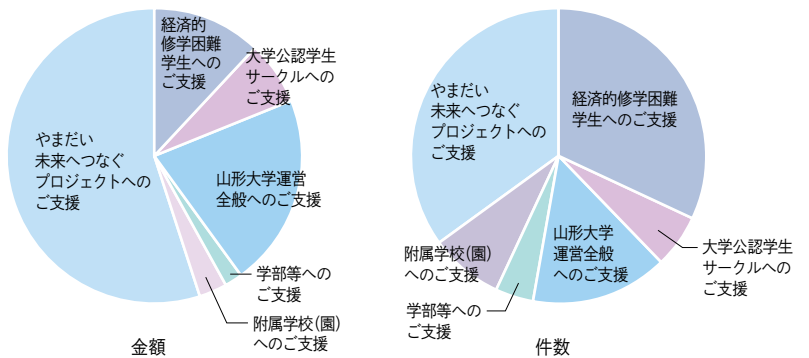
令和5年4月1日から令和6年3月末までの受入状況報告

区分	金額 (円)	件数
「山形大学基金」受入実績 令和5年4月1日 ～令和6年3月31日	44,267,078	1,139
(内訳1: 目的別)		
経済的修学困難学生へのご支援	5,187,000	369
大学公認学生サークルへのご支援	3,251,908	67
山形大学運営全般へのご支援	9,137,073	167
学部等へのご支援	1,065,000	47
附属学校(園)へのご支援	1,373,097	96
やまだい未来へつなぐプロジェクト	24,253,000	393

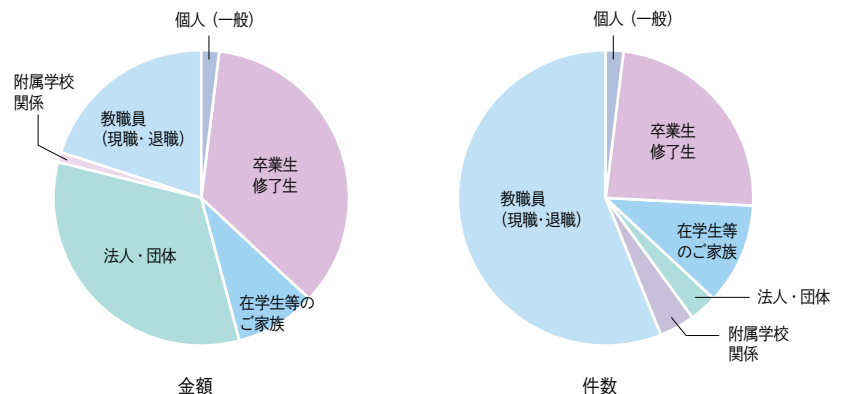
(内訳2: ご寄附者別)		
区分	金額 (円)	件数
個人(一般)	875,000	22
卒業生・修了生	15,625,000	279
在学生等のご家族	3,959,000	125
法人・団体	14,467,981	33
附属学校関係	671,597	46
教職員(現職・退職)	8,668,500	634

区分	金額 (円)
現物資産寄付 受入総額	66,382,878

目的別



ご寄附者別



山形大学公認学生サークル一覧 (令和6年7月1日現在)

■ 小白川キャンパス

- | | | | | | |
|------------|----------------------|----------------|-------------------------|-----------------------|----------------|
| 体育系 | ● clover ~硬式テニスサークル~ | ● 弓道部 | ● 柔道部 | ● ソフトボールサークル | ● 花笠サークル「四面楚歌」 |
| | ● King Kids | ● 競技舞踏部 | ● 少林寺拳法部 | ● 卓球部 | ● バラグライダー部 |
| | ● SALIBANDY 部 | ● 剣道サークル | ● 女子バスケットボール部 | ● 男子サッカー部 | ● バレーすっごの会 |
| | ● Style & 表現研究会 | ● 剣道部 | ● 女子バレーボール部 | ● 男子バスケットボール部 | ● バレーボール同好会 |
| | ● アイスホッケー部 | ● 硬式庭球部 | ● 女子ハンドボール部 | ● 男子バレーボール部 | ● フェンシング部 |
| | ● アクアライフ | ● 硬式野球部 | ● 水泳部 | ● 男子ハンドボール部 | ● フットサル同好会 |
| | ● 汗をかく会 (AKK) | ● 小白川バスケットボール会 | ● スキー部 | ● チアダンスサークル「Cherries」 | ● フライングディスク同好会 |
| | ● アメリカンフットボール部 | ● 小白川ビリヤードサークル | ● スノーボードサークル「FreeStyle」 | ● 軟式野球部 | ● ラグビー部 |
| | ● 居合道同好会 | ● コヒードダンスサークル | ● 漕艇部 | ● バーベルクラブ | ● 陸上競技部 |
| | ● 空手道部 | ● 自然に親しむ会 | ● ソフトテニスサークル twist | ● バドミントンサークルスマッシュNo.1 | ● ワンダーフォーゲル部 |
| ● 基礎スキー同好会 | ● 自転車部 | ● ソフトテニス部 | ● バドミントン部 | | |

- | | | | | | |
|-----|---------------------------------|-------------|-------------|-----------------------|-------------------------|
| 文化系 | ● IF (International Friendship) | ● 音楽愛好会 | ● 史跡サークル | ● チーム道草 | ● まちの記憶をのこし隊 |
| | ● IVY youth | ● 音楽研究会 | ● 篠笛愛好会 | ● 地学研究会 | ● 学び場プラス |
| | ● JAZZ 研究会 | ● かるた部 | ● ジャグリング同好会 | ● 動物愛護サークル anifare | ● 漫画研究会 |
| | ● JCC | ● 郷土食文化研究会 | ● 写真部 | ● フィルハーモニーオーケストラ | ● マンドリンクラブ |
| | ● アカベラサークル「Smile」 | ● くるみぼたんの会 | ● 障害児教育研究会 | ● 美術部 | ● 模擬裁判実行委員会
(学部研究機関) |
| | ● 囲碁将棋部 | ● 軽音楽研究会 | ● 書道部 | ● フリーバーバーサークル "Y-ai!" | |
| | ● うたごえサークルとまり火 | ● 劇団めざましどけい | ● 吹奏楽団 | ● 文芸部 | ● 八峰祭実行委員会 |
| | ● 演劇集団舞台工房 | ● 混声合唱団 | ● 聖書研究水曜会 | ● 放送研究会 | ● ラジオサークル HBK |
| | ● お笑いサークル | ● 茶道部 | ● 生物学研究会 | ● ポケモン同好会 | ● 歴史学研究会 |

■ 飯田キャンパス

- | | | | |
|-----|----------|--------------|--------------|
| 体育系 | ● 合気道部 | ● 少林寺拳法部 | ● ハンドボール部 |
| | ● 空手道部 | ● 水泳部 | ● フットサル部 |
| | ● 弓道部 | ● ソフトテニス部 | ● モルック部 |
| | ● 競技スキー部 | ● ソフトボール部 | ● ヨット部 |
| | ● 剣道部 | ● 卓球部 | ● ラグビー部 |
| | ● 硬式テニス部 | ● バスケットボール部 | ● 陸上競技部 |
| | ● ゴルフ部 | ● バドミントン部 | ● ワンダーフォーゲル部 |
| | ● サッカー部 | ● 花笠サークル四面楚歌 | |
| | ● 準硬式野球部 | ● バレーボール部 | |
- | | | | |
|-----|---|---------|----------|
| 文化系 | ● DoD (Dance or Die) ダンス部 | ● 囲碁将棋部 | ● 室内合奏団 |
| | ● YMSA (Yamagata Medical Student Association) | ● 映画部 | ● 同窓会新聞部 |
| | ● 軽音楽部 Sound Room | | |

■ 米沢キャンパス

- | | | |
|---------------|----------------------|-------------|
| 体育系 | ● ARK | ● 自然に親しむ会 |
| | ● SALIBANDY 部 | ● 自転車競技部 |
| | ● アクアライフ | ● 自動車部 |
| | ● アメリカンフットボール部 | ● 柔道部 |
| | ● 基礎スキー同好会 Big Boots | ● 少林寺拳法部 |
| | ● 弓道部 | ● 漕艇部工学部支部 |
| | ● 剣道部 | ● ソフトテニス部 |
| | ● 工学部 Work Out | ● 卓球部 |
| | ● 工学部ソフトボールサークル | ● バスケットボール部 |
| | ● 工学部軟式野球サークル | ● バドミントン同好会 |
| ● 硬式庭球部 | ● バドミントン部 | |
| ● 硬式庭球部 | ● 花笠サークル四面楚歌工学部支部 | |
| ● 硬式野球部 | ● バラグライダー部 | |
| ● 小白川バスケ会米沢支部 | ● バレーボール部 | |
| ● サイクリングサークル | ● 表現研究会 | |
| ● サッカー部 | ● 陸上競技部 | |

■ 鶴岡キャンパス

- | | | | | | |
|-----|------------------------|------------------|-----------------|------------------|------------------|
| 体育系 | ● アクアライフ | ● 卓球部 | ● ビリヤードサークル | ● JAZZ 研究会 | ● 茶道部 |
| | ● アメリカンフットボール部鶴岡支部 | ● タッチフットサークル | ● フットサルサークル | ● アカデミーストリングス合奏団 | ● ジャグリングサークル |
| | ● 居合道サークル | ● 軟式野球サークル | ● フライングディスク同好会 | ● アカベラサークル Lien | ● 写真サークル TAKE! |
| | ● 剣道サークル | ● バスケットボール部 | ● 陸上競技部 | ● 吾妻祭実行委員会 | ● 人力飛行機研究会 |
| | ● 硬式テニスサークル Nanala | ● バドミントン部 | ● ワンダーフォーゲル部 | ● 囲碁・将棋部 | ● 吹奏楽団 |
| | ● 自然に親しむ会 | ● 花笠サークル四面楚歌 | | ● 音楽サークル 青い空 | ● 地学研究会 |
| | ● ソフトテニス部 | ● バレーボール部 | | ● ギター・マンドリンクラブ | ● 漫画研究会 |
| | | | | ● グリーククラブ | ● 無線研究会 |
| | | | | ● 軽音楽研究会 | ● 模型サークル |
| | | | | ● 劇団スピリッツ | ● もの、まちづくりサークル縁 |
| 文化系 | ● OH,ONE! | ● 吹奏楽団 | ● 農学部ジャズ研究会 | ● 工学部 VR 部 | ● ゆきんこ |
| | ● アカベラサークル Smile ☆鶴岡支部 | ● タキタウボランティアサークル | ● 農業サークルのらいいのぉ | ● 国際交流サークル YUICY | ● 料理サークル「REGALO」 |
| | ● うたごえサークルとまり火 | ● 地学研究会 | ● ほとりあ・環境調査サークル | ● 古書研究会 | ● ロボ・タスティクス |
| | ● 鶴寿祭実行委員会 | ● テーブルゲームの会 | ● マンドリンクラブ | ● コンピュータ研究会 | |
| | ● 重音楽研究会 | ● 農学部茶道部 | ● 森の民 | | |

やまだい未来へつなぐプロジェクト 現在2つのプロジェクトを実施しています。

地域の記憶「共創」アーカイブ まちと人の未来のために

● 山形の過去から現在の記憶を

本事業では、山形の風景やそこに生きる人々の証言など、地域の「記憶」を集め、インターネット上で共有するデジタル・アーカイブ「山形アーカイブ」を作成・公開しています。

● 地域と大学が共創して

「山形アーカイブ」の構築には地域の皆様との協働が不可欠です。地域とともに歩み、その発展に尽くしてきた山形大学だからこそ今、取り組めることです。

● 未来のために

「山形アーカイブ」は、山大生が山形に愛着を持つきっかけになるほか、歴史教育・生涯学習・まちづくり・観光・文化財保護など、さまざまな地域課題の解決に活用できます。「山形アーカイブ」は未来に生きる人たちに対する、現在を生きる私たちからの贈り物です。



山形大学医学部創立 50 周年を迎えました

創立 50 周年の節目を迎えるにあたり、記念事業を行います。

● 「50 周年記念講堂」の整備

医学部最大の講義室である大講義室を「50 周年記念講堂」として整備いたします。記念講堂の整備により、大人数での入学式や講演会の開催が可能となります。

● YU-MAI センター及び図書館の整備

学生や卒業生、メディカルスタッフとの協働スペースとして「YU-MAI センター」の整備を計画しており、今後は4階建ての学生自習スペースを十分に確保できるようになる予定です。

山形大学医学部が次の50年に向けて益々の発展と飛躍の礎を築き上げ、しっかりとしたものを次世代へと残し活用していくため、皆さまのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。



「障がいのある学生等への支援」を新設しました

令和6年12月1日から、修学支援事業「障がいのある学生等への支援」を新設し、ご寄付の受入れを開始します。

本支援により、障がいのある学生等に対して、個々の学生の障がいの状態に応じた合理的な配慮を提供するために必要な事業を行います。具体的には、合理的配慮の提供に係る授業等を補助する人的支援の強化、支援機器の購入、障がい学生支援スタッフ（YU ハートサポーター）の養成、施設整備・改修等に活用させていただきます。

なお、「経済的修学困難学生への支援」と同様に、「税額控除」「所得控除」のいずれかを選択して確定申告において税制上の優遇措置の対象となります。

ご寄付のお申し込みについて(参照11ページ)、山形大学Webサイトからの場合、「寄付をする」から「障がいのある学生等への支援」をクリックしてください。払込票により金融機関(ゆうちょ含む)からお申し込みの場合、「寄付目的」のコードNoに、「7」とご記入ください。

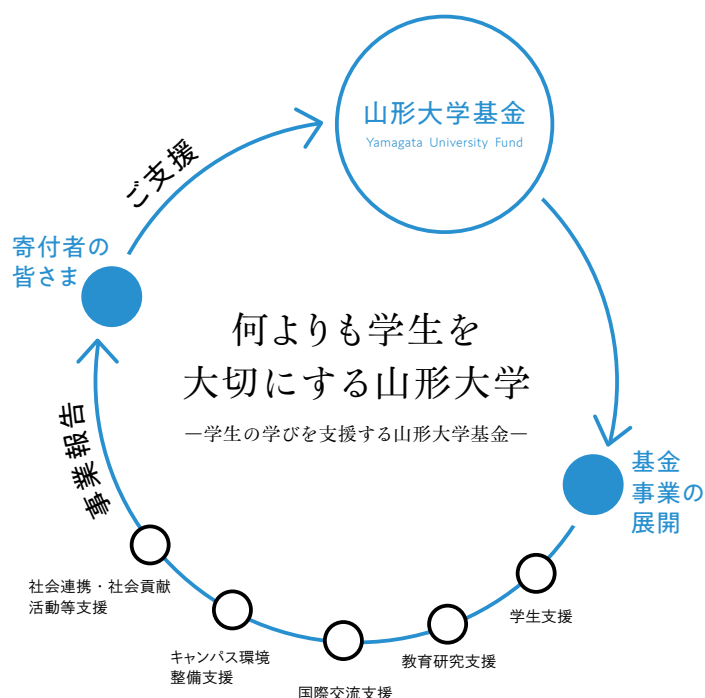
障がいのある学生等の修学支援をお支えくださいますよう、お願い申し上げます。



山形大学運営全般への支援

以下の支援事業を柱としております。各年度の具体的な支援事業につきましては、本学にご一任願います。

- 学生支援
課外活動（団体、サークル等）、
キャリア形成・就職、優秀学生への奨学金等
- 教育研究支援
基盤共通教育・専門教育、学術研究推進等
- 国際交流支援
海外留学、外国人留学生、海外大学との交流等
- キャンパス環境整備支援
安全・安心・快適なキャンパス整備、
バリアフリー対応等
- 社会連携・社会貢献活動等支援
卒業生等との交流、ボランティア活動、
地域交流・貢献活動等
- その他基金の目的達成に必要な支援



学部等への支援

学部等（所属する研究室を含む）を指定してご支援をいただくことができます。

(例) ○○学部（研究科）、○○学科（専攻）、○○研究室
附属病院

附属学校（園）への支援

附属学校（園）では地域のモデル校となれるような取り組みを実践しています。

附属学校（園）の新たな教育（将来構想）に基づく研究活動、教育活動、環境整備へのご支援をいただくことができます。

やまだい未来へつなぐプロジェクト

本学の使命に貢献し、かつ、目的と期間を限定した寄付プロジェクトです。

より個別・具体的な教育研究活動、キャンパス環境整備、大学経営環境の向上等を推進します。

なお、各プロジェクト終了後に、寄付金の使用用途等を報告します。（8頁参照）



ご寄付への謝意

- ご芳名の掲載 ご寄付いただきました皆さまに深く感謝の意を込めまして、ご芳名を山形大学基金ホームページに掲載し、永く本学の歴史に刻ませていただきます。なお、公開をご希望されていない方々につきましては、掲載をしておりません。
- 感謝状の贈呈 個人で100万円以上、法人・団体で500万円以上のご寄付をいただいた皆さまに、感謝状を贈呈いたします。
- 国の褒章制度 公益のために私財をご寄付いただいた方に授与される『紺綬褒章』に、ご寄付者のご意向を確認の上、公益団体認定を受けている本学から文部科学省に申請いたします。授与基準に基づき、500万円以上のご寄付をいただいた個人及び1,000万円以上のご寄付をいただいた団体を対象としております。

株式等の現物資産によるご寄付

「山形大学基金」への土地・建物株式等の現物資産のご寄付につきましては、所定の手続きによりみなし譲渡所得税が非課税となります。

現物資産のご寄付をお考えの場合は、基金担当へお問い合わせ願います。

遺贈によるご寄付

遺言で相続人のほか、山形大学を受遺者（遺言によって財産の遺贈を受ける者）としてご指定いただくことにより、ご寄付をいただくことが可能です。

本学では、本学に遺贈をお考えの方々にお役に立つよう、高度な専門性と豊富な経験を有する信託銀行と協定を締結しております。

遺贈によるご寄付をお考えの場合は、基金担当へお問い合わせ願います。

なお、本学へご遺贈いただきました財産については、原則として相続税は非課税となります。

また、本学へご遺贈いただきました財産は、大切に運用しながら学生の修学支援や教育・研究環境の整備に活用させていただきます。

みずほ信託銀行株式会社 仙台支店

〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町3-1-1
TEL 022-215-8793

三井住友信託銀行株式会社 仙台支店

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央二丁目1-7
TEL 022-224-1147

ご寄付のお申込み

ご寄付に際しては、各種のお申し込み方法がございます。Web サイト並びに添付の払込票によるご寄付が可能です。ご不明な点がございましたら、お気軽に基金担当へお問い合わせ願います。

山形大学基金 Web サイト（PC、スマホ）からのお申込み

山形大学基金 検索

<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/fund/>



山形大学基金 HP

お振込方法

- ▶ クレジットカード決済
- ▶ インターネットバンキング決済（ペイジー）
- ▶ 銀行振込（ゆうちょ銀行・郵便局を含む）
- ▶ コンビニ決済（払込票タイプ）

「寄附をする」をクリック



または

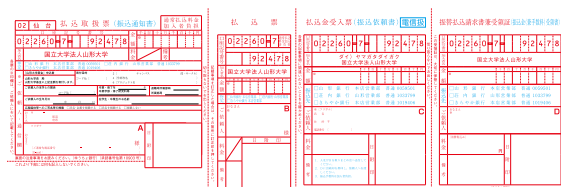


寄附目的を選択してクリック

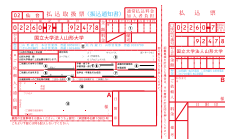
画面の指示に従って、必要事項を入力の上お申し込みください。

継続寄付（毎月、年2回、年1回）をご希望の場合、クレジットカード決済でお申し込みください。

払込取扱票（本紙挟込み）からのお申込み



「山形大学基金」寄付申込 払込取扱票のご記入等について



①記入事項
「山形大学基金」寄付票は、払込取扱票にご記入いただくことで成立します。
ご記入の際は必ずお読みください。
②送付先
〒980-8577 山形県山形市山形 山形大学基金 基金事務課
〒980-8577 山形県山形市山形 山形大学基金 基金事務課
③送付先
〒980-8577 山形県山形市山形 山形大学基金 基金事務課
④送付先
〒980-8577 山形県山形市山形 山形大学基金 基金事務課

- ・用紙の下部「ご記入等について」及び裏面のコード表をご覧ください、ご依頼人・通信欄をご記入ください。
- ・郵便局及び銀行においてお振込みください。
- ・ゆうちょ銀行（郵便局）窓口およびATMにて現金でお支払いの場合は、1件当たり110円（税込）加算されますのでご注意ください。なお、ゆうちょ銀行の通帳およびキャッシュカードでお手続きされる場合は加算されません。

税制上の優遇措置

山形大学基金への寄付金は、所得税法上の寄付金控除の対象となる特定寄付金（所得税法第78条第2項第2号）又は法人税法上の全額損金算入を認められる指定寄付金（法人税法第37条第3項第2号）として財務大臣から指定されております（昭和40年大蔵省告示第154号）。

また、個人から山形大学基金にご寄付いただいた場合、「所得控除」が適用されますが、経済的な理由で修学に困難がある学生等に対する支援にご寄付いただく場合は、「所得控除」と「税額控除」のどちらかを選択することができます。

■個人の場合

(1) 所得及び所得税の寄付金による控除

寄付金控除には、[A] 所得控除と[B] 税額控除の2種類があります。ただし、[B] 税額控除については、経済的な理由で修学に困難がある学生等に対する支援のための「修学支援事業特定基金」にご寄付された分についてのみ適用となります。確定申告の際には、寄付者ご自身においてどちらか一方の制度をご選択ください。

[A] 所得控除

各寄付者の所得に応じた税率を寄付金額に乗じて、所得税額から控除

$(\text{寄付金額}^{\ast 1} - 2,000 \text{円}) \times (\text{所得に応じた税率}) \rightarrow \text{所得税額から控除}$

[B] 税額控除

各寄付者の所得に応じた税率に関係なく、所得税額から直接寄付金額の一定割合を控除

$(\text{寄付金額}^{\ast 1} - 2,000 \text{円}) \times 40\% = \text{控除対象額}^{\ast 2} \rightarrow \text{所得税額から控除}$

※1 寄付金支出額が、総所得金額等の40%に相当する金額を超える場合には、40%に相当する額が税額控除対象寄付金となります。
※2 控除対象額は、所得税額の25%が限度となります。

【参考例】

年収500万円（平均的な税率20%）の方が1万円を寄付した場合

所得控除 $(10,000 \text{円} - 2,000 \text{円}) \times 20\% = 1,600 \text{円}$

税額控除 $(10,000 \text{円} - 2,000 \text{円}) \times 40\% = 3,200 \text{円}$

(2) 個人住民税の寄付金による控除

山形大学へご寄付された翌年1月1日のご住所が次の自治体の方は、確定申告の際に、住民税の寄付金控除もあわせて申告することにより、翌年度の住民税から控除されます（令和5年にご寄付された場合、令和6年度の住民

税から控除）。確定申告をせずに住民税の寄付金控除のみを受ける場合は、各自治体に申告してください。

- ・都道府県の指定：山形県
- ・市町村の指定：山形市、米沢市、鶴岡市

※上記の自治体及び今後、山形大学を住民税控除の対象法人として指定した自治体から要請があった場合は、寄付者名簿を提出することになっておりますので、ご了承願います。寄付者名簿には、寄付者氏名、住所、寄付金額、寄付受領日を記載いたします。

$(\text{寄付金額}^{\ast 3} - 2,000 \text{円}) \times \text{住民税控除率}^{\ast 4} \rightarrow \text{住民税額から控除}$

※3 控除対象となる寄付金額は、その年の総所得金額等の30%が上限となります。

※4 住民税控除率は、都道府県の指定は4%、市町村の指定は6%、双方指定の場合は10%となります。

(3) 寄付金控除の手続き

寄付金控除を受けるためには、ご寄付された翌年の確定申告期間に所轄税務署で確定申告を行ってください。確定申告の際には、山形大学が発行する「領収書」（税額控除を受ける場合は、併せて「税額控除に係る証明書」の写し）が必要になります。

※領収書等は、本学で入金の確認が取れ次第、お送りいたします。

※確定申告書は国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」から作成することをお勧めします。

※確定申告についてのご相談は、所轄税務署へお問い合わせください。

■法人の場合

寄付金は、当該法人の各事業年度の所得の計算上、全額損金に算入されます。

山形大学基金担当

〒990-8560 山形県山形市小白川町一丁目4-12 TEL 023-628-4497 FAX 023-628-4185

E-mail : yu-kikin@jm.kj.yamagata-u.ac.jp <https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/fund/>

